

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成29年10月5日 (2017.10.5)

【公開番号】特開2016-78367(P2016-78367A)

【公開日】平成28年5月16日 (2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-213437(P2014-213437)

【国際特許分類】

**B 2 7 N 3/04 (2006.01)**

**B 2 7 N 3/14 (2006.01)**

**D 0 4 H 1/732 (2012.01)**

【F I】

B 2 7 N 3/04 B

B 2 7 N 3/04 A

B 2 7 N 3/14

D 0 4 H 1/732

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月22日 (2017.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維を含む材料を乾式で解繊可能な解繊部と、  
前記解繊部で解繊された解繊物を気中で滞留させる滞留部と、  
前記解繊部から前記滞留部に向かって前記解繊物を搬送する第 1 搬送部と、  
前記滞留部、又は、前記滞留部よりも上流側の前記第 1 搬送部に、調湿された空気を供給する水分供給部と、  
前記滞留部から搬送された前記解繊物の少なくとも一部を用いてシートを形成する形成部と、  
を有することを特徴とする、シート製造装置。

【請求項 2】

前記滞留部は前記解繊物を攪拌することを特徴とする、請求項 1 に記載のシート製造装置。

【請求項 3】

前記滞留部は回転体を有することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のシート製造装置。

【請求項 4】

前記回転体は、円筒状のふるいであることを特徴とする、請求項 3 に記載のシート製造装置。

【請求項 5】

前記円筒状のふるいの内側に、前記解繊物に接触可能で固定された固定部材を有することを特徴とする、請求項 4 に記載のシート製造装置。

【請求項 6】

前記回転体は、前記滞留部の内部で回転する回転子であることを特徴とする、請求項 3 に記載のシート製造装置。

**【請求項 7】**

繊維を含む材料を乾式で解繊する解繊工程と、  
前記解繊された解繊物を気中で滞留させる滞留工程と、  
前記解繊物の少なくとも一部を用いてシートを形成する形成工程と、  
を有し、  
前記滞留工程では、前記解繊物に対して、調湿された空気を供給することを特徴とする  
、シート製造方法。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0007

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0007】**

本発明に係るシート製造装置の一態様は、  
繊維を含む材料を乾式で解繊可能な解繊部と、  
前記解繊部で解繊された解繊物を気中で滞留させる滞留部と、  
前記解繊部から前記滞留部に向かって前記解繊物を搬送する第1搬送部と、  
前記滞留部、又は、前記滞留部よりも上流側の前記第1搬送部に、調湿された空気を供給  
する水分供給部と、  
前記滞留部から搬送された前記解繊物の少なくとも一部を用いてシートを形成する形成  
部と、  
を有する。